

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：氣田 ） （B組：氣田 ） （C組：氣田 ） （D組：氣田 ） （E組：氣田 ） （F組：氣田 ）

使用教科書：（ 実教出版 家庭総合 ）

- 教科 家庭
- の目標：
- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解していると共に、それらにかかわる技能をみにつける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に実現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につける。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践する態度及び力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 これからの人生について考える 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題について考える。 ・人生をデザインするうえで必要な準備を考え、シミュレーションする。 ・「大人」と自分を比較し、不足している点を考える。 ・青年期の特徴について学ぶ。 ・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族が抱える問題を踏まえ家族を支える仕組みについて具体的に考える。 ・家族に関する法律の資料を見ながら考えをまとめて話し合う。	【知識・技能】 自分自身について考えるワークシートなどを通して、自分や人の一生について考えをまとめることができる。将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。結婚、家族・家庭の多様化や、時代と共に変化する役割について理解できる。家族に関する法律について知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢化、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら自分の生活や将来について考えを深め、レポートや発表を通じて考えを表現することができる。自分の近い将来についてのキャリアを生活についての設計を考えワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて意欲をもって取り組もうとしている。男女共同参画社会など現在の社会状況について、興味をもって知ろうとする態度がある。結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味関心を持とうとしている。家族、家庭生活に関する法律について興味関心を持ち、家庭生活と法律との関係について理解しようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 子どもとかわる 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てることの意義について考えるとともに、子どもの健やかな発達のために親の家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・育児を学ぶ意義について理解する。 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する。 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかわるようになるようにする。	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とのかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考え	○	○	○	15

			ッ、この課題を元々の、解決に向けるためようとしている。				
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 衣生活をつくる 【知識及び技能】 目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・衣服の起源や歴史、風土に適した衣服について知り、人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようにする。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び自分たちができていることを考える。	【知識及び技能】 衣服の素材の種類や特徴について知識を身に付け、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 材料の選択、日常の衣服管理の方法を習得するとともに、基礎縫いなどの縫製技術を身に付け、日常着の管理ができる。 エプロンの製作を通し、衣服の機能の理解、取り扱い、縫製技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身に付け、実生活での衣服管理において、適切な判断ができる。現在の衣生活を取り巻く状況について自分の衣生活を振り返りながら課題を導き出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基礎縫いの確認のための実習に積極的にとりくもうとする。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D単元 消費行動を考える 【知識及び技能】 消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる 【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・情報社会における生活情報について知り、その適切な活用方法について考える。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。	【知識及び技能】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 【思考力、判断力、表現力等】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	11
	E単元 消費行動と意思決定 【知識及び技能】 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計を工夫する。 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障など関連付けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自主的に学習に取り組んでいる。	・適切な家計管理について考える。 ・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・今日の社会背景を踏まえて、具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	【知識及び技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 将来のライフイベントとその費用を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持ってとりくもうとしている。 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70